

DataCloset-Plus 操作マニュアル — 実行編



本マニュアルには、しおり(目次)が用意されています。

自動で表示されない場合は、PDF 画面のしおりボタンを押してください。

1 データを抽出する

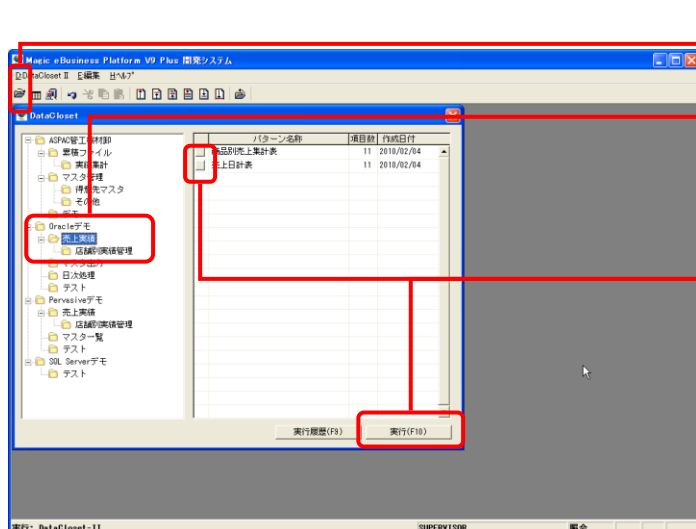
パターン実行メニューでは、事前に作成されたパターンを呼び出して抽出処理を実行します。

※この画面では、抽出条件と簡単なオプションの指定はできますが、項目を選択したり詳細のオプションを変更することはできません。項目の選択や詳細のオプションの変更は、パターン管理メニューを使って行います。詳細に関しては、「DataCloset-Plus 操作マニュアル — パターン管理編」を参照ください。

パターン実行メニューを使ったデータ抽出処理は、以下の手順で行います。

- ①メニューから抽出パターンを選択する。
- ②抽出条件を指定する。
- ③抽出処理を実行する。
- ④抽出結果を Excel で見る／印刷する。

1.1 抽出パターンを選択する

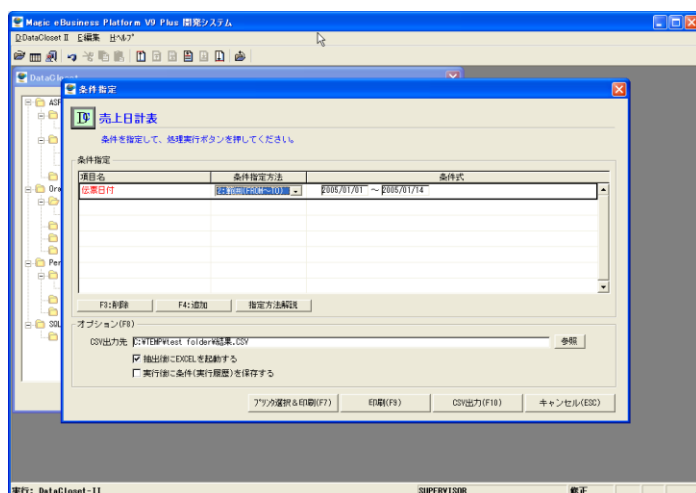


① パターン実行メニューを表示する。

② アイコンをクリックして、フォルダを展開する。

③ ボタンを押して実行画面を表示する。

1.2 抽出条件を指定する



メニューからパターンを選択すると実行画面が表示されます。条件指定欄には、条件の指定が許可されている項目と、(項目によっては)条件の初期値がセットされています。条件指定方法を選択し、条件式欄に条件の値を指定してください。

※赤字で表示されている項目は、条件指定が必須の項目です。

複数の項目に条件を指定する

複数の項目に条件が指定された場合は、全ての条件を満たすデータが対象になります。

同じ項目に複数の条件を指定する

同じ項目に複数の条件を指定することができます。この場合は、いずれかの条件を満たすデータが対象になります。

① 条件を追加したい項目にカーソルをあわせて「F4:追加」ボタンを押します。また、追加した行は、「F3:削除」ボタンで削除することもできます。

② 追加された行に条件を指定します。

あいまい検索の指定方法

①条件指定方法で「8:任意の文字を含む」を選択します。

②以下の記号を使って条件を指定します。

「%」…任意の文字列

「_」(アンダーライン)…任意の1文字

(例)

%株式会社% …文字列のどこかに「株式会社」が含まれる。

株%…文字列の先頭が「株」で始まる。

%子…文字列の最後が「子」で終わる。

_B%…2桁目の文字が「B」(3桁目以降は何でも構わない)。

1.3 抽出結果をファイルに出力する

「F10:ファイル出力」ボタンで、抽出処理を実行し、抽出結果をファイルに出力します。本画面では、出力先のファイル形式と出力先の指定が可能です。ファイル形式には、以下の2つが用意されています。

- 1) CSV形式…それぞれの項目をカンマで区切って出力します。出力されたファイルは、EXCELに読み込むことも可能です。同名のファイルが存在する場合には、上書き出力されます。
- 2) EXCEL形式…EXCELのブックに直接出力します。出力先のシート名やオプションは、パターン作成時に指定しますので、変更が必要な場合は、パターンの管理者に依頼してください。尚、パターン作成時に指定できるオプションには以下のものがあります。

・出力先のシート名、開始行番号、開始列番号、シートの初期化の有無、出力後の罫線描画、各項目の出力書式

※EXCEL形式で出力する場合には、ご使用の端末にEXCELがインストールされている必要があります。

出力形式、出力先のファイル名、抽出後のEXCEL 起動の有無、を指定します。

※オプションの変更は今回の実行時のみ有効です。(オプションを常に変更したい場合は、パターン管理者に依頼してください。)

① 抽出処理を実行する。

1.4 抽出結果を印刷する

抽出結果を、帳票として、直接プリンタに出力することも可能です。帳票出力は、「プリンタ選択&印刷(F7)」もしくは「印刷(F9)」ボタンで実行します。

帳票のデザインは、パターン作成時に指定しますので、変更が必要な場合はパターン管理者に依頼してください。

※設定によっては、これら2つのボタンが表示されない場合もあります。

項目名	条件指定方法	条件式
伝票日付	2:範囲(FROM~TO)	R2Z/01/01 ~ R2Z/01/15

F3:削除 F4:追加 指定方法解説

オプション(F8)

出力形式: ☐ 1:CSV形式 ☒ 2:EXCEL形式

出力先: J:\TEST\test folder\結果.xls 参照

☒ 抽出時にEXCELを起動する

☐ 実行時に条件(実行履歴)を保存する

プリンタ選択&印刷(F7) 印刷(F9) ファイル出力(F10) キャンセル(ESC)

① 出力形式、出力先のファイル名、抽出後のEXCEL 起動の有無、を指定します。

※オプションの変更は今回の実行時のみ有効です。(オプションを常に変更したい場合は、パターン管理者に依頼してください。)

② 抽出処理を実行する。

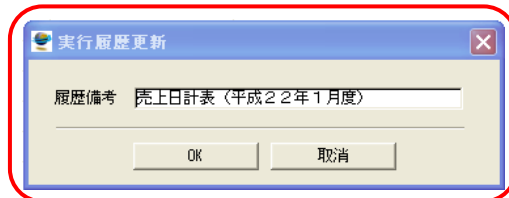
2 操作履歴を利用する

抽出処理後に操作履歴(抽出条件)を保存することができます。この操作履歴を呼び出して再実行することで、同じ条件を何度も指定する手間を省くことができます。

2.1 操作履歴を保存する



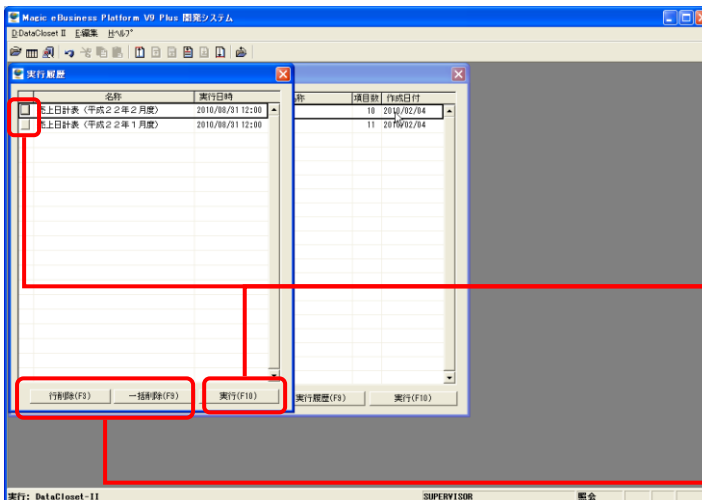
① 「実行後に条件を保存する」をチェックします。



② 抽出後に履歴の名称を指定する画面が表示されます。再実行するときに、条件が特定できるような名前を指定して「OK」を押してください。

※本画面を「取消」で終了した場合は、履歴は保存されません。

2.2 操作履歴から実行する



メニューの「実行履歴(F9)」ボタンを押すと、実行履歴画面が表示されます。該当の履歴を選択して、実行します。

実行画面を起動します。
実行画面以降の処理は、通常の場合と同じです。

行削除(F3)・・・カーソルのある行を削除します。
一括削除(F9)・・・日付指定画面が表示されます。指定された日付以前の履歴が一括で削除されます。